

# SGH「アジア探究～文系」レポート11

9月12日

関西学院大学社会学部 陳立行教授 英語授業

9月から10月にかけて関西学院大学陳先生による「移民」をテーマとした英語授業が実施されます。

グローバル化の時代を迎え、国境を越えた人の移動はますます盛んです。移民という事象は、個人にとって、あるいは、その所属するコミュニティにとって、どのような意義や影響力を持つのでしょうか？

まず、各生徒の挙げたキーワードについてワークショップ形式で議論してキーワードどうしの関連性を発見し、各グループがその発見を黒板で発表します。そのあと陳先生は、プレゼンテーションの方法論も含めながら、移民に関する基本的な考え方をレクチャーされました。非常にアクティブで興味深い時間となりました。

9/18(木)と10/2(木)には、東南アジアのような多民族社会と移民の関係、少子高齢化の進む日本と外国人労働者の関係、などの考察も深める予定です。

